

2021. 2. 18 ウェブセミナー

第19期五中全会のコミュニケと米中貿易戦争下の中国戦略

主催：日本国際貿易促進協会京都総局、一般社団法人 東海日中貿易センター

コロナパンデミックからいち早く脱出した中国は、米中貿易戦争が激化する中、2020年世界唯一のGDPプラス成長（2%予測）を達成しました。昨年10月に開催された第19期五中全会では、「第14次5カ年計画（2021年～2025年）」と「2035年までの長期目標の策定に関する中共中央の建議」が審議・採択されました。

2012年に中国共産党総書記、2013年中華人民共和国国家主席に習近平氏が就任後、新常態下の中国の安定と成長を支える為に「一帯一路」構想を提唱し、「アジアインフラ投資銀行（AIIB）」を設立、そして「中国製造2025計画」、「第13次5カ年計画」、2017年の共産党大会で発表された強国論を背景に、政治、経済、軍事、IT面において圧倒的な成果を上げたと言えます。しかし、一帯一路加盟国の「債務の罠」、「香港国家安全維持法」制定などのひずみを生んだ事も事実です。

一足先にコロナ制圧と経済再開成功を宣言する中国の習近平体制、米国新大統領による今後の米中経済関係など、中国ビジネスに従事する誰もが今最も注目する点について、中国駐在28年のベテラン会計士に語っていただきます。

講演概要

【日時】2021年2月18日（木） 14:00～15:30

【場所】WEBセミナー（ライブ配信）／ 使用アプリ：Zoom

【定員】100名 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

【参加費】無料

【申込】以下のURLより、お申込フォームに必要事項を入力し、送信して下さい。

【締切】2021年2月16日（火）

<講演内容>（予定）



1. はじめに
2. 習近平国家主席の野望とは
3. 第19期五中全会の開催背景
4. 第14次5カ年計画の概要
5. 第14次5カ年計画の注目点

日本国際貿易促進協会京都総局

The Association For The Promotion of International Trade, Japan, Kyoto Office

6. 中国製造2025は何処に行った？
7. 第13次5カ年計画と結果
8. アメリカ民主党の中国戦略
9. 日本の対中戦略は如何に？
10. 日本の対中経済戦略は如何に？

<講師>

<p>池田 博義 氏 株式会社マイツ 代表取締役（マイツグループ CEO） 1975年 公認会計士、税理士登録、 1987年 株式会社マイツ設立、 1994年 株式会社マイツ上海代表処設立、 1999年 上海マイツ咨询有限公司設立、 2011年 マイツグループ中国・アジア進出支援機構設立 ※現在中国国内 10 か所の事業所を含め中国・アジアに 17 カ国 37 拠点を有し、中国の会計・税務、人事・労務、経営、法務をワン ストップで提供。2017年7月1日現在、グループ全体（パートナー企 業を含む）でクライアント件数 5,200 社、従業員数 520 名</p>	 <p>池田 博義 氏</p>
<p>お申し込みはこちら→ https://bit.ly/3hNwXxl</p> <p><small>（入力された個人情報は、個人情報保護基本方針に基づいて取り扱われることに同意するものとします。）</small></p>	

<お問合せ>

日本国際貿易促進協会京都総局

TEL: 075-354-0777

e-mail: kyotosou@japitkyoto.jp

一般社団法人 東海日中貿易センター

TEL: 052-219-4820

e-mail: gyoumu@tokai-center.or.jp

<Zoomのご利用について>

- ・開催日までに各自の端末から「Zoom」にアクセスのうえ、アプリ使用の可否をご確認ください。
- ・WEBでお申し込みいただいたきますと、ご登録いただいたメールアドレスに、招待アドレスを送信します。セミナー当日、各自の端末から送信されたURLにアクセスして受講して下さい。なお、本セミナーにかかる通信やその他にかかる費用等は参加者の負担とします。
- ・参加者の皆様の通信環境や通信回線の状況により中断される可能性があります。通信状況の悪化や遮断、機器トラブルに関して、主催者は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご理解の上、お申込みください。
- ・集団受講（端末1台で複数名受講）はご遠慮ください。複数名で受講される場合はお手数ですが、1名毎にお申込みください。
- ・内容は予告なく変更・中止・延期になる場合がございます。

<注意事項・留意事項等> こちらをご確認ください。 ⇒ [注意事項・留意事項等.pdf](#)